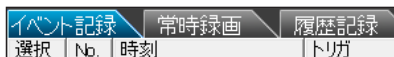


再生する

■ 例：イベント記録を再生する場合

1. イベント記録をクリックする



2. 再生したい録画データ名に を入れる



※ 常時録画、履歴記録を再生したい場合は、該当するタブをクリックすると切り替わります。

※ 複数のデータを選択できます。

※ [すべてを選択] をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

※ [トリガ] をクリックすると、トリガの種類を選択して表示することができます。



3. [読み込み] をクリックする

選択した録画データが読み込まれ、表示されます。

※ 一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

4. 再生する

▶ ボタンをクリックすると、記録するきっかけとなった時点から再生します。

バックアップする

SD カードに記録されているデータをパソコンなどにバックアップできます。

※ バックアップしても記録した映像は削除されません。映像を削除するときは、録画データ削除を行ってください。

1. データ名の一覧より、保存したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする

2. [バックアップ] をクリックする



※ [全てバックアップ] に を入れると SD カードに記録されているすべての映像がバックアップの対象となります。

※ PC Browser タイプで保存した場合、フォルダ内に「バックアップ年月日_バックアップ時刻」のフォルダが作成され、その中に「データ年月日_データ時刻.bak」ファイルが作成されます。

3. 保存先を指定し、[スタート] をクリックする

保存が完了すると、「完了しました」と表示されます。

4. [OK] をクリックして終了する

動画（静止画）を変換する

動画：記録されたデータを AVI 形式の動画に変換して保存できます。

静止画：表示エリアに表示されている映像を JPEG 形式の静止画に変換して保存できます。保存先を指定し、[表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択します。

※ 周囲カメラ表示方法が「リング型表示」または「ドーム型表示」の場合は、「魚眼表示」と同じ表示で変換されます。

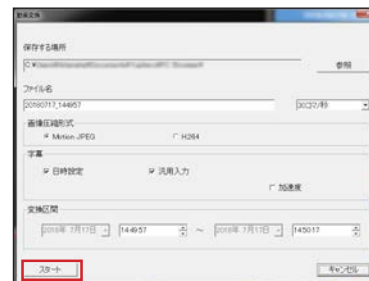
1. データ名の一覧より、変換したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする

※ 動画を変換時、サブカメラが同時に記録されている場合、動画がメインカメラ、サブカメラで作成されます。

2. [動画変換] をクリックする、または [静止画変換] をクリックする

3. 保存先を指定し、[スタート] をクリックする

■ 動画変換の場合



※ 日時設定など字幕の各項目に を入れると、保存ファイルに字幕で各情報を表示します。

■ 静止画変換の場合



※ 静止画枚数は「秒×コマ数」になります。

• 表示中の静止画すべて

1 画面表示で静止画変換を行った場合は 1 枚、16 分割表示から静止画変換を行った場合は、表示されている 16 画面の映像すべてを静止画に変換できます。

• コマ数指定 (選択した静止画から)

表示エリアの映像から範囲指定した時間分をコマ数指定した数で分割し、静止画を作ることができます。

<秒間>

範囲指定された、表示エリアの映像の長さ(秒)を表示しています。

<コマ/秒>

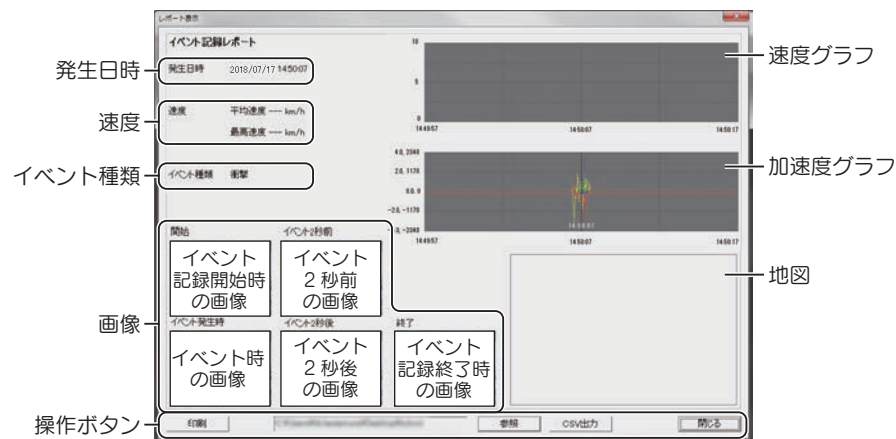
1 秒間を何コマで分割するかを設定します。

保存が完了すると、「完了しました」と表示されます。

4. [閉じる] をクリックして終了する

レポートを表示（印刷）する

■ 例：イベント記録のレポートを表示（印刷）する場合



※レポートの種類によっては、表示されない情報もあります。

1. イベント記録をクリックする

2. 再生したい録画データ名に を入れる

※複数のデータを選択できます。

※[すべてを選択]をクリックすると、記録されているデータすべてに が表示されます。

3. [読み込み] をクリックする

※一度に読み込むデータ数を多くすると、データ名を表示するのに時間がかかる場合があります。

4. 表示したい録画データを選択し、 (レポート表示) をクリックする

イベント記録レポートが表示されます。

5. 印刷する場合は、[印刷] ボタンをクリックする

印刷プレビューが表示されます。

記録した映像を印刷する

表示されている映像を印刷することができます。

1. データ名の一覧より、印刷したい録画データ名に を入れ、[読み込み] をクリックする

※映像を回転させると、回転した状態の映像を印刷できます。

2. (印刷) をクリックする

※[ファイル]をクリックし[印刷]をクリックしても同じ画面表示になります。

3. [表示中の静止画すべて] または [コマ数指定] を選択する



• 表示中の静止画すべて

表示エリアの映像を印刷します。16 分割で表示されているときは、表示されている 16 枚の印刷を行います。

• コマ数指定

表示エリアの映像から範囲指定した時間分を、コマ数指定した数で分割して印刷します。

※選択できる最大コマ数は、記録設定の録画コマ数が反映されます。

※印刷枚数は、「秒×コマ数」になります。

4. [確認] をクリックする

印刷プレビューが表示されます。



5. 印刷後、[閉じる] をクリックして終了する

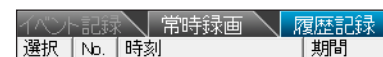
履歴記録を見る

本機の電源が入っている間に設定した時間分の履歴（ログデータ）を SD カードに保存します。

※初期値では [---] に設定されているため、履歴記録はしません。履歴記録を行う場合は、履歴記録時間の設定を [---] 以外に変更してください。

※合計時間が設定した時間を超えた場合は、古いデータから順に上書きされます。

1. [履歴記録] をクリックする



2. データ名の一覧より、見たい録画データ名に を入れる



3. [読み込み] をクリックする

履歴記録が表示されます。

設定を変更する

※ 間違った機種選択をした場合、本機は正常に動作しません。



■ 設定項目一覧

青文字：初期値

	設定項目	選択項目または入力値
① 記録設定	録画方法	常時録画・イベント記録・常時+イベント
	解像度	1080P HD (1920 × 1080)・1080P (1440 × 1080) 720P (1280 × 720)・VGA (640 × 480)
	録画コマ数 (イベント記録コマ数)	30, 15, 10, 5, 1 コマ / 秒・2, 1 コマ / 分・12, 6 コマ / 時*1 ※ 1 メインカメラの録画コマ数を [2 コマ / 分]、[1 コマ / 分]、[12 コマ / 時]、[6 コマ / 時] に設定した場合、イベント記録コマ数は [1 コマ / 秒] になります。
	使用カメラ	標準 / 周囲
	イベント記録時間	60 秒 (30, 30) (40, 20) (50, 10)・50 秒 (30, 20) (25, 25) (40, 10) 40 秒 (20, 20) (25, 15) (30, 10)・30 秒 (18, 12) (20, 10) (25, 5) 20 秒 (10, 10) (12, 8) (15, 5) ※ サブカメラを [有効] にした場合、メインカメラの解像度・録画コマ数によっ ては、選択できない項目があります。
	音声記録	ON・OFF
	履歴記録時間	24 時間・168 時間・480 時間・--- (OFF) ※ 初期値では [---] に設定されているため、履歴記録のタブはグレー表示になりク リックできません。
	履歴記録コマ数	1 コマ / 秒・2 コマ / 秒
	サブカメラ有効 / 無効	有効・無効
	上書きモード	常時録画 イベント記録 履歴記録

	設定項目	選択項目または入力値
② システム	ビーブ音	ON・OFF
	SD カード ID	SD カード ID を設定できます。
	パスワード	設定を変更できないようにパスワードを設定できます。
③ 衝撃感度設定	使用機種	使用する機種を選択できます。
	G センサ記録	有効・無効
	簡単設定モード	を入れると、「感度」敏感 (1)～鈍感 (9) までの 9 段階から設定できます。(5)
	衝撃	簡単設定モードの を外すと、それぞれの項目を個別に設定することができま す。敏感 (1)～鈍感 (9) までの 9 段階から設定できます。(5)
	急発進 / 急ブレーキ	
	急ハンドル	
	ジャイロセンサ記録	有効・無効 ※ [有効] にした場合、[常時録画] に設定していても、衝撃検出を行い、常時録画の 録画データにトリガのみマークします。 ※ [無効] にした場合、すべての録画方法において、ジャイロセンサー記録を行 いません。
	急旋回	敏感 (1)～鈍感 (9) までの 9 段階から設定できます。(5)
	設置角度検出を実行	センサユニットを初めて取り付けたり、設置場所を変更した場合は設置角度 検出を実行してください。

設置角度検出を実行する

※ センサユニットを初めて取り付けたり、設置場所を変更した場合は設置角度検出を実行してください。

1. 「衝撃感度設定」の【設置角度検出を実行】に を入れて、【SD カードへ保存】をクリックする

☒ 設置角度検出を実行

2. 設定済みの SD カードを本機に挿入する

※ SD カードの抜き差しは、電源 OFF 後 10 秒以上経ってから行ってください。

3. 車両のエンジンを ON する

設置角度検出を行うため車両を 10 秒間移動させないでください。

※ 設置角度検出は、平らな場所で行ってください。

④ 日時設定

1. 設定するに を入れて、日付や時刻を設定する

※ 本機の電源 ON すると SD カードから読み込み、日時を修正します。
現在時刻ではなく、次に本体を電源 ON する日付や時刻を想定して設定してください。
また、時刻がずれる場合がありますので定期的に行ってください。

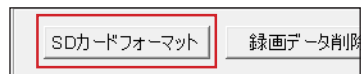
⑤ SD カードをフォーマットする

数ヶ月に一度、専用ソフトでSD カードのフォーマットを行ってください。

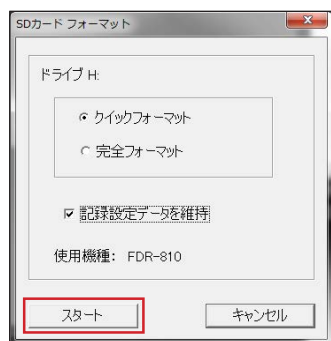
1. 専用ソフトを起動後、[ツール] をクリックし [FDR-810] をクリックする
2. [ツール] をクリックし [SD カードフォーマット] をクリック後、SD カードを選択し [OK] をクリックする



※ 記録設定画面の [SD カードフォーマット] をクリックしても「手順 3.」の画面を表示できます。

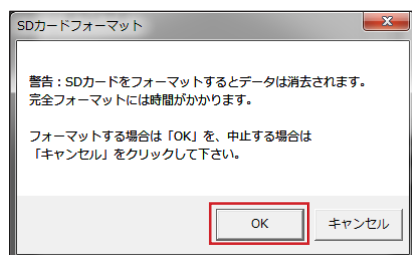


3. フォーマットの設定をし、[スタート] をクリックする

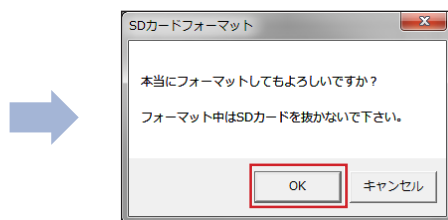


- 記録設定データを維持
を入れると、SD カードの初期化を行っても、記録設定データを保持します。
を外すと工場出荷時の内容に戻り、記録されたデータは削除されます。

4. [OK] が表示される



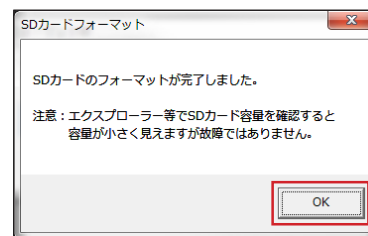
上の確認メッセージが表示されます。[OK] をクリックします。
中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。



さらに上の確認メッセージが表示されます。
[OK] をクリックします。
中止する場合は、[キャンセル] をクリックします。

5. [OK] をクリックする

フォーマットが完了します。

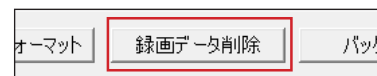


⑥ 録画データを削除する

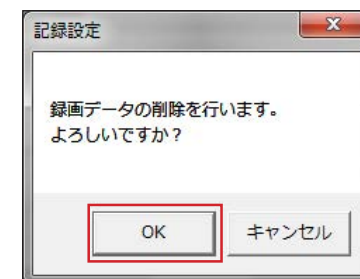
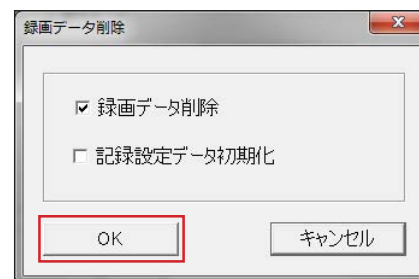
録画データ削除をクリックすると [録画データ削除] と [記録設定データ初期化] が選択画面に表示されます。

- SD カード内に記録されたデータを削除します。
- いったん削除すると、元には戻せませんのでご注意ください。記録した映像を保存しておきたい場合は、データをパソコンなどの別の場所に保存してください。

1. [録画データ削除] をクリックする



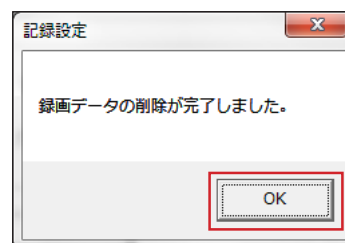
2. [録画データ削除] に を入れ、[OK] をクリックする



※ 記録設定データ初期化に を入れないでください。工場出荷時の状態にリセットされます。

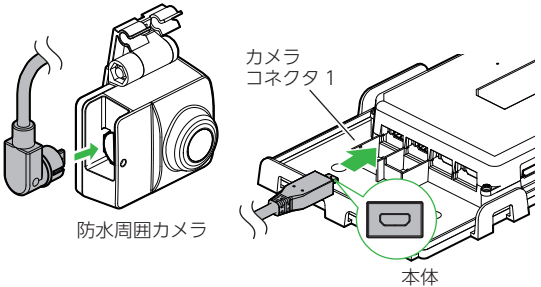
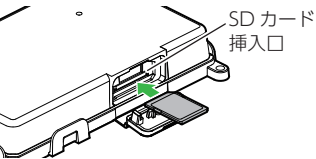
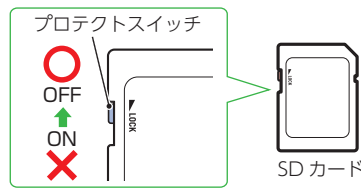
3. [OK] をクリックする

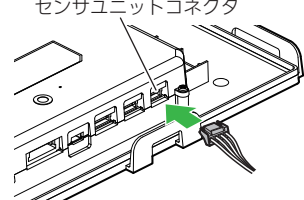
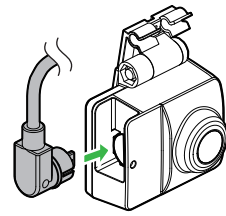
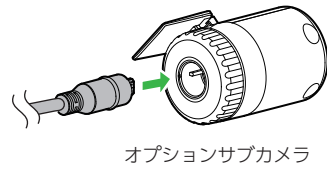
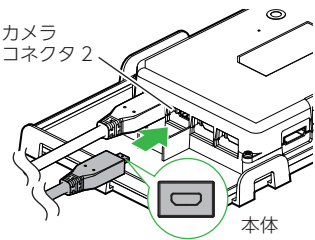
記録設定画面に戻ります。



本機から警告音が鳴る

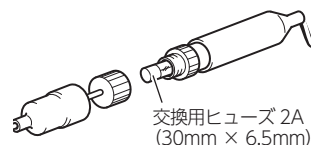
エラーになると、本機から警告音が鳴ります。警告音は、3 種類あります。

警告音	症状
① 『ピー』と鳴る	- カメラコネクタ 1 にカメラが正しく接続されていない。 (1 カメラ使用時)  防水周囲カメラ カメラコネクタ 1 本体 ※カメラコネクタ 1 に防水周囲カメラが接続されていない場合、録画できません。付属品の防水カメラケーブルと防水周囲カメラを必ず取り付けてください。 ※2 カメラ併用時は、両方のカメラが正しく接続されていない場合に『ピー』と警告音が鳴ります。正しく接続されているか確認してください。 - SD カードが(正しく)挿入されていない。 車両のエンジンを OFF にし、10 秒以上経ってから付属品の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。  SD カード 挿入口
② 『ピーピーピー』と鳴る	付属品の SD カードのプロテクトスイッチが ON(書き込み禁止)になっている。 車両のエンジンを OFF にし、10 秒以上経ってから付属品の SD カードを抜き取り、プロテクトスイッチを OFF にしてから再度挿入してください。  プロテクトスイッチ OFF ON SD カード ※本機専用以外の SD カードが挿入されている。 車両のエンジンを OFF にし、10 秒以上経ってから付属品の SD カードを抜き取り、付属品の SD カードもしくは別売品の SD カードを挿入してください。

警告音	症状
③ 『ピピピピピ』と鳴る (断続音のため、「ブルブルブル」と聞こえる場合もあります。)	- センサユニットが本体に接続されていない。 センサユニットを本体に接続してください。  センサユニットコネクタ ※専用ソフトの設定が「G センサ記録：[無効]、ジャイロセンサ記録：[無効]」になっている場合、センサユニットが接続されていなくても警告音は鳴りません。 - カメラコネクタ 1 または、カメラコネクタ 2 にカメラが正しく接続されていない。 (2 カメラ併用時) 防水周囲カメラ、オプション周囲防水カメラまたは、オプションサブカメラを正しく接続してください。専用ソフトの設定が「サブカメラ：[無効]」になっている場合、カメラコネクタ 2 にカメラが接続されていなくても警告音は鳴りません。  オプション防水周囲カメラ  オプションサブカメラ  カメラコネクタ 2 本体

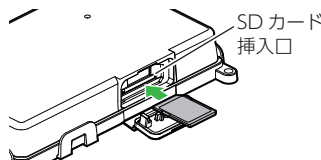
電源が入らない

- ❑ 電源ケーブルが外れていないか確認してください。
- ❑ ヒューズケーブルのヒューズが切れていないか確認してください。
切れている場合は、同じ容量(2A)の新しいヒューズと交換してください。



映像が記録できない

- ❑ 付属品の SD カードが正しく挿入されていますか。
付属品の SD カードが正しく挿入されていないときなどは正常に起動できません。車両のエンジンを OFF にし、付属品の SD カードを抜き取り、再度正しく挿入してください。
- ❑ 記録設定の上書きモードが OFF になっていませんか。
上書きモードが OFF の場合上書きができません。
SD カードを取り出し、専用ソフト上で設定を変更します。



記録した映像が映らない

- ❑ 記録設定の上書きモードが OFF になっていませんか。
付属品の SD カード内に保存されている専用ソフトをインストールしてください。

専用ソフトが起動できない

- ❑ パソコンに DirectX9.0c 以降のバージョンがインストールされていますか。
DirectX9.0c 以降のバージョンがインストールされていないと起動できない場合があります。
DirectX9.0c 以降のバージョンをインストールするかアップデートしてください。

SD カードに録画データが保存されていない

- ❑ 録画データのバックアップ等を行い、専用ソフトで SD カードをフォーマットしてください。
- ❑ SD カードは消耗品です。定期的に新品に交換してください。
付属品、または別売品の SD カード以外は使用しないでください。
製品購入店やお近くの弊社取扱店にご注文ください。

録画データの日付や時刻がずれる

- ❑ 専用ソフト上で「日時設定」を行ってください。

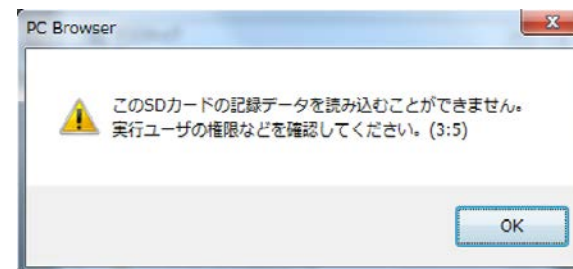
イベント記録がうまく働かない

- ❑ 加速や減速、路面の凹凸などに反応しすぎる場合は、専用ソフトで衝撃感度を鈍感側に設定してください。
感度を敏感側にした場合、急加速や急ブレーキ、急ハンドルなどに反応しやすくなります。
- ❑ 「設置角度検出」を行ってください。
センサユニットを初めて取り付けたりときや設置場所を変更した場合は、設置角度検出を実行してください。

専用ソフトが起動できるが、SD カードのファイルを読み込めない

- ❑ 専用ソフトを管理者として実行していますか。

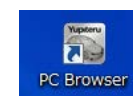
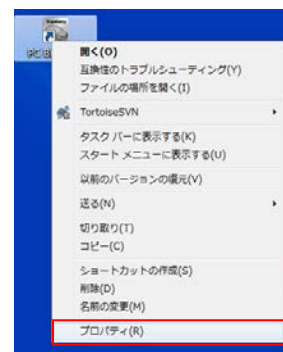
PCBrowser1.8.10.0 では、ショートカットをダブルクリックして起動したときに下図のようなエラーメッセージが表示される場合があります。



＜デスクトップ上のショートカットアイコンから設定を変更する＞

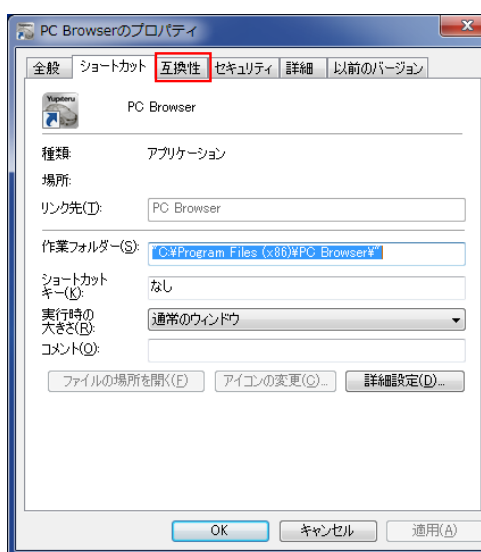
- ① ショートカットアイコンを右クリックし、プロパティをクリックする。
- ② 表示されたプロパティの互換性のタブをクリックする。
- ③ 「特権レベル」の「管理者としてこのプログラムを実行する」にチェックを入れて「適用」→「OK」をクリックしてください。

①



＜PC Browserのショートカット＞

②



③

